



5 月 14 日総会風景
(議長・高橋光男さん 書記・吉川勝さん)

5 月 14 日 杉田地区センターにて総会が開かれました。参加者 20 名と少なく、なんとも寂しい総会でした。そこで、今後会をどう盛り上げていくかがこれからの話し合いの重要案件になるといふ事を確認しあいました。

平成 23 年度総会 開かれる



横浜陶芸友の会だより

第 147 号
平成 23 年
7 月 1 日発行

第 33 回『友の会作品展』のお知らせ

事業部

今年度の『作品展』の日程が決まりましたので、お知らせいたします。今年度は、6 日間の開催です。

上手、下手ではなくお互いの技量を高め学びあっている場にするためにも会員の皆様は奮って出展下さいますようお願い申し上げます。

【場 所】 横浜市民ギャラリー 1 階

(教育文化センター内 JR 関内駅下車)

【開催期間】 平成 24 年 1 月 11 日 (水)

16 日 (月) 6 日間

【出展料】 一区画 (幅 30 cm) 2000 円

【特設コーナー】「陶管」^{とうばこ} 15 cm 角以内の大きさ

高さは自由。※出展料は無料
絵付け、彫りなど、楽しい作品にぜひ挑戦してください。申し込み方法やイベントなどの詳細は、次回の広報でお知らせいたします。

「常滑焼」の急須を造りませんか?

【開催期日】 平成 23 年 ①8 月 27 日 (土) ②28 日 (日)

【場 所】 横浜市陶芸センター (本牧市民公園内)

【参加人数】 1 日 12 名 まで

【参加費用】 各回 (1 日) 6 千円

【締め切り】 7 月 14 日 (先着順で 各回 12 名になり次第 締め切ります)

【申し込み】 次の①か②の方法で申し込んでください

①往復はがき

宛

②<Eメール>

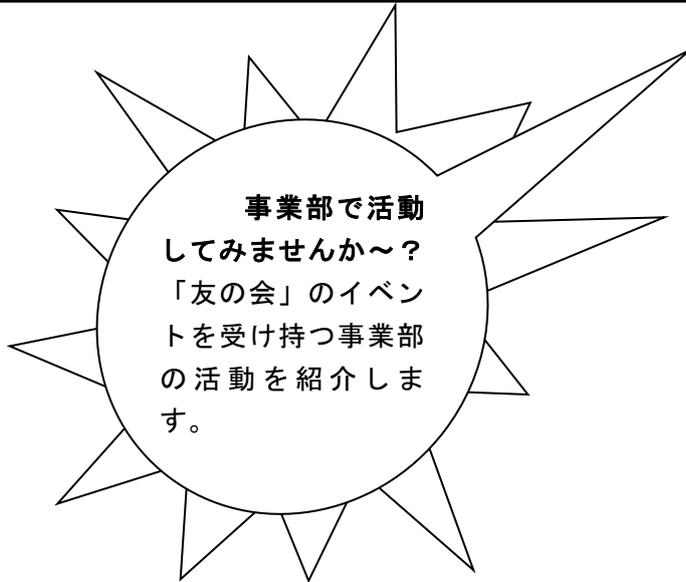
※ワードかエクセルのみ

・氏名 ・住所 ・電話 ・希望日 (①27日 ②28日 ③どちらでもよい) を書き送付してください。 ※結果と詳細は、後日連絡いたします。

○今年度、諸事情により「窯場見学会」は中止 いたします。

その代わりに 7 年前、見学会で常滑を訪れた時にお会いした「片山白山」先生を横浜にお招きし、その素晴らしい急須作りの技術を教えていただくことになりました。会員皆様の 技術を向上させるチャンス です。 参加、お待ちしております。 (事業部)

『片山先生』
来る



事業部とは・・・

- ①「友の会」のメイン イベント「作品展」の企画運営を担当します。作品展を充実させる貴方のアイデアが活かされます。
 - ②「窯場見学会」の企画と運営を行います。旅行が大好き。高名な陶芸家にお会いしたい。「〇〇焼」をもっと知りたい。などの思いが実現できます。
 - ③美術館見学会、陶芸講習会など楽しい企画があれば、実現できます。
- ★特に、役員未経験の方の参加を希望しています。

秋季焼成会のお知らせ

友の会の伝統ある行事の秋期焼成会は左記の会場・日程で行いますので、会員の皆様の多人数参加をお待ちしております。

専修部

釉薬は専修部特製の天然灰を使用して織部・白萩・黄瀬戸・灰天目・他にも白マツト・土灰・ルリ紺・透明・青磁氷裂釉等と、白化粧土（刷毛目・粉引）を用意しております。

今回も専修部一同白化粧には力を入れて取り組みます。化粧土の濃度等、今までの経験で大分要領を得ましたので、まだ白化粧作品を作った事のない方は、是非とも参加してみても如何でしょうか。白化粧は『生』掛けしますので、乾燥状態に注意して持参して下さい。

会場・横浜技能文化会館

工芸研究室 607号室

(京浜東北線関内駅南口下車 徒歩3分)

受付・・・9月4日 10時～11時半

施釉・・・9月18日 9時～11時半

引渡・・・9月25日 10時～11時半

各日とも時間厳守でお願いします。

料金・・・100g 当たり180円(素焼+

本焼) 白化粧作品は『生』ですの
で150円にて受け付けます。

また、来年の作品展の特設コーナーの作品は「15cm四方の蓋物」とのことですので、前記の釉薬を用いての作品を、この焼成会で作ってみては如何でしょうか。

**専修部では
若い部員の入部お待ちしております**

活動内容につきましては

毎年 9月～10月 関内 技能文化センターの電気窯を借り、会員皆様の作品を酸化焼成で焼いております。

焼成会ご案内の記載記事をご覧ください。

詳しい内容につきましては、4月号 友の会だよりにて専修部 事業内容を写真入りで紹介しておりますので、再度ご参照ください。

素敵な作陶と、楽しい仲間作りには是非

専修部への入部を~~~~~

お待ちしております。



—

—

陶陶さん

第 69 号

あかほし



もったいないコーナー

譲ります

●シンポ工業の電動轆轤 2 台

RK-2C 型 単相 100V 520×480×490

重量 39k g ターンテーブル 直径 300mm

○1 台は円形のドベ受けが付いています。

○1 台は取り外し可能な半円と台形を合わせたドベ受け型

(二階においてあるので、降ろして運んで頂くのが只今のところ希望です

(これは、さいたま市見沼区にお住まいの 寒河江 洋子先生からのお申し出ですので広報部・吉良が窓口になり早い人順に先生にとりつぎます。)

●山中さんの陶芸材料・道具

○粘土 赤信楽、伊賀細土、3~5k g 半ば乾燥状態 5・6 個

○道具収納プラケース、

小 3 段引き出し (幅 25×奥行 35×高さ 26 cm)

大 4 段引き出し (キャスター付 幅 35×奥行 42×高さ 69 cm)

○道具類

絵の具パレット一角皿、梅皿、

乳鉢一 (小) 乳棒付 3 セット、(大) 乳棒付 1 セット、

押印花一ロール印花 多数

内こて一丸 平 長 多数

石膏皿型一丸型・角型・扇型 くしー中・小

木製外パス、ササラ、藁刷毛、毛筆、木製ヘラ 大・小、

平線搔へら、線描へら、鉄製カンナ、柄コテ、ポンス、各種

金弓、竹弓、タタキ板、布ヤスリ 60 番・80 番、比重計

どんぐりの帽子 (織部用) タタラ用ゲージ板、菱、
他いろいろあります。

7 月 16 日 (土)・17 日 (日)・18 日 (月) の 3 日間

午前 11 時～午後 4 時まで金沢区富岡西の吉良宅に全部並べます。

お茶飲みがてらおいで下さい。京急富岡駅下車、電話を下さい、迎えに行きます。電話

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより 第 143 号

(平成 22 年 7 月 1 日発行)

発行人 横浜陶芸友の会

会長 松崎 紀一

編集責任者 広報部長 吉良謙



「印刷屋にほぼお任せ」から「自分達でパソコン編集」に作業変更して 3 年、お陰で写真挿入も苦もなくできるようになりました。パソコンの得意な方も得意でない方も、家に居てできることが多いですので、忙しい人でも「広報ならやれそう」という方、募集します。是非、ご一緒にしませんか？

広報部一同

広報部員募集しています。

- 広報は編集をパソコンで行っています。
- 会議もメールのやり取りで済ませる事が多いです。
- 印刷も業者に持ち込めば、お茶のみをしていられるうちに出来上がります。
- 発送は総務にお願いしています。